



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和3年8月27日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2021年第33週
(8/16~8/22)

<情報編>

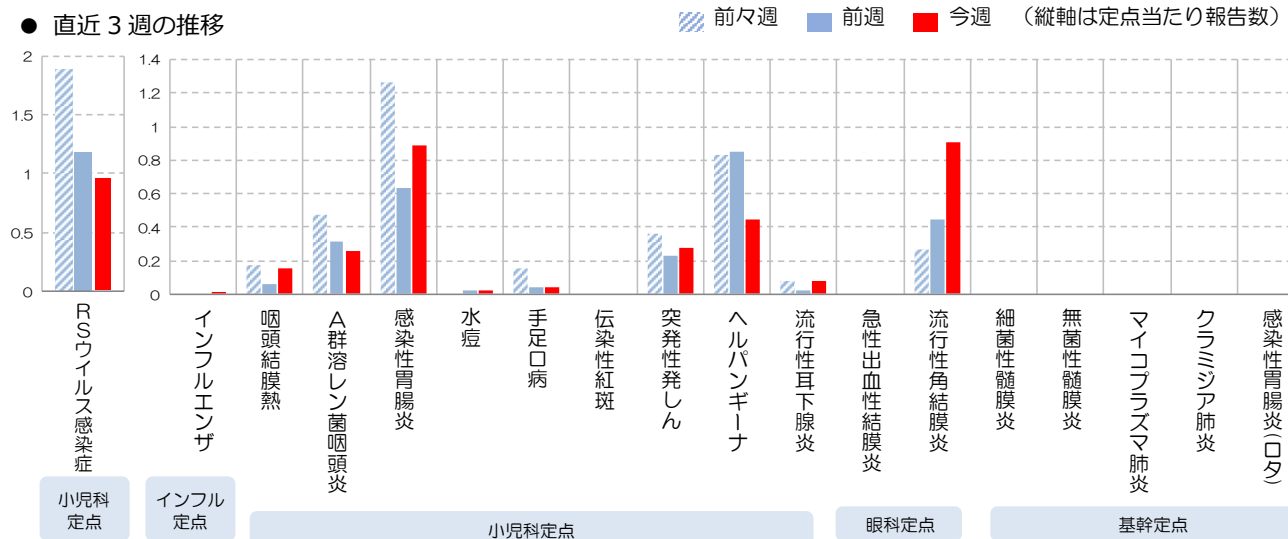
今週の主な動向

- 新型コロナウイルス感染症について、発生報告数が急激に増加しています。
- RSウイルス感染症について、発生報告数に減少傾向がみられます。
- 流行性角結膜炎について、岐阜市において流行の兆候がみられます。

定点把握対象疾患

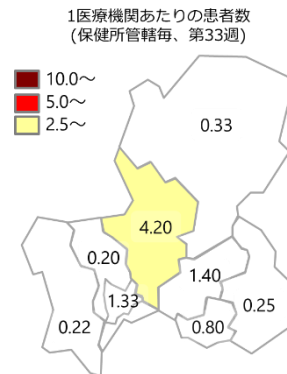
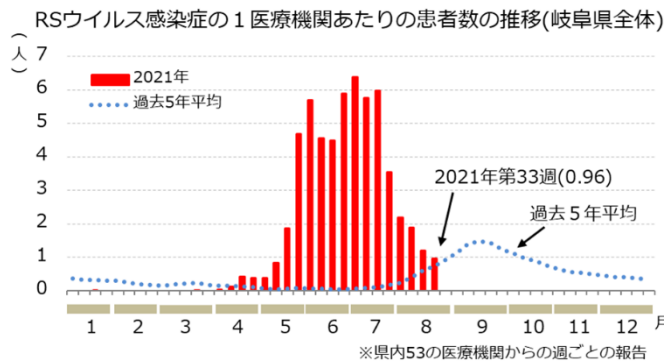
<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移



トピック：RSウイルス感染症

流行の規模を示す1医療機関あたりの患者数は減少傾向ですが、いまだ例年の流行時と同程度に高い状態です。重症化するリスクの高い乳児や、基礎疾患をお持ちの小児あるいは高齢者と接する際は、飛沫感染と接触感染への対策を心掛けるなど、引続きご注意をお願いします。



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 4例
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：なし

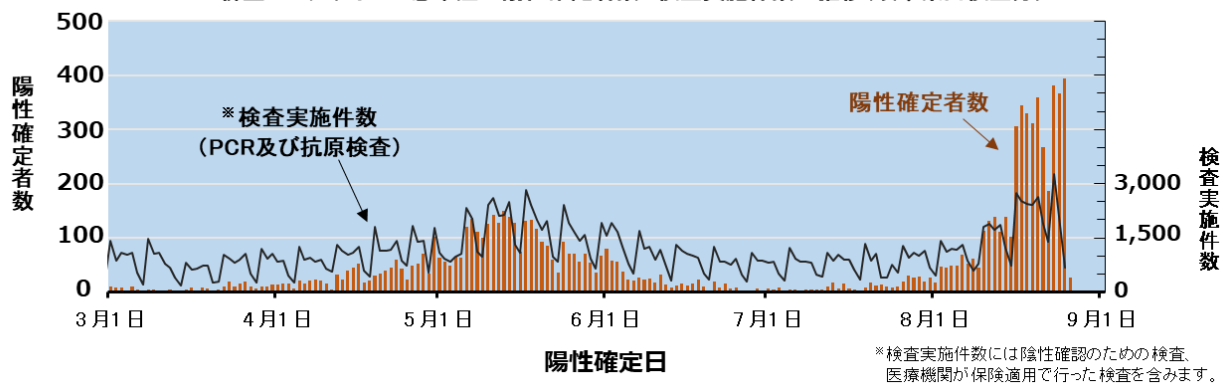
- 5類感染症：梅毒 3例
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 2105例 (8/16~8/22(陽性確定日による集計))

トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(岐阜県内検査分)について、陽性確定者の総数は14051人(県外居住者243人含む)となりました(令和3年8月26日17:00現在のデータによる)。そのうち近日分のデータをグラフ化すると次頁のようになります。

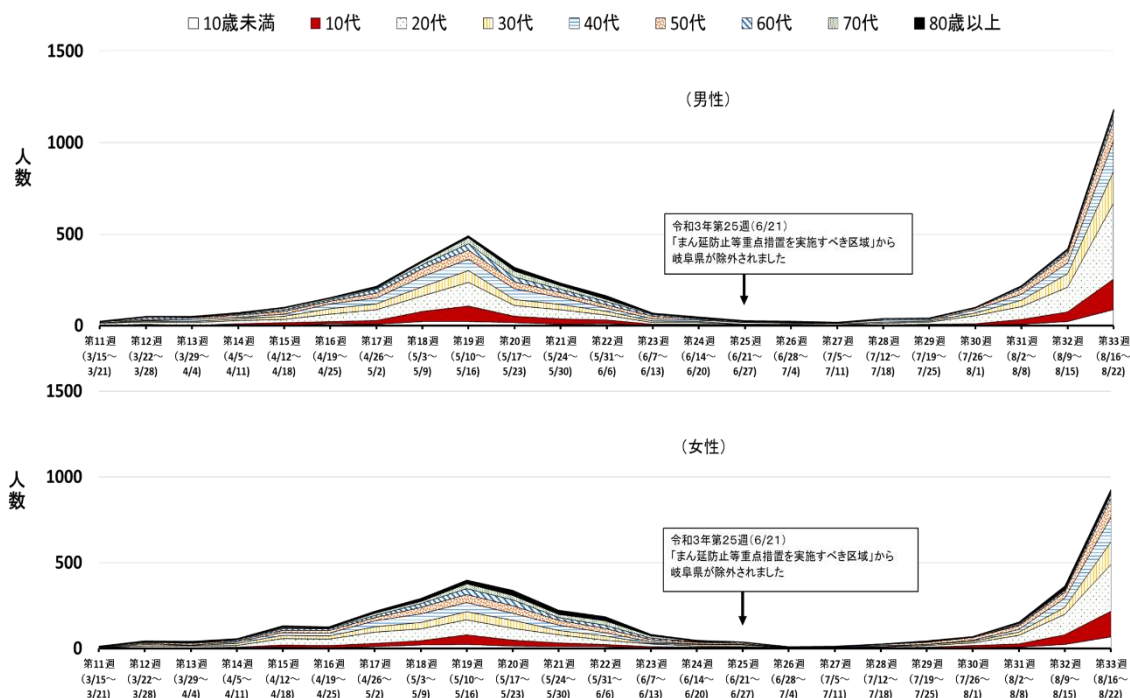
<情報編>

新型コロナウイルス感染症の陽性確定者数と検査実施件数の推移(岐阜県内検査分)



令和3年第33週の報告数は2105人であり、前週からは約3倍増加し、これまでで最多数となりました。現在岐阜県には「まん延防止等重点措置」が適用されていますが、今回の急増により8月27日からは岐阜県全域が「緊急事態措置を実施すべき区域」に指定されます。この危機を乗り越えるため、密閉・密集・密接（3密）の条件を避けること、マスクを適切に着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、感染拡大エリアとの往來の回避や多人数での長時間に及ぶ会食を避け、体調が悪い時には外出を控えるなど、感染対策へのご協力をお願いいたします。

第4波後の岐阜県における陽性確定者発生の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP 「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県 HP 「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

※厚生労働省が提供する新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、ウイルスの変異についての解説です。

・「(2021年8月版) 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000788485.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、マスクの着用を徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出を控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。